

〔倭訓栞前編九計〕けふ 今日をいふ此日の義也、ことけとひとふと通せり、萬葉集に見ゆ、又こふと

もよみ、菅萬に當日もよめり、

〔延喜式八祝詞〕出雲國造神賀詞

八十日日波在止今日能生日能足日爾出雲國國造姓名恐美恐美申賜久略

〔古今和歌集十八題〕題八迄八らす

世中は何かつねなるあすかゞは昨日の淵ぞけふは瀬になる

よみ人迄らす

〔古今和歌集六〕としのはてによめる

はるみちのつらき

昨日といひけふとくらしてあすか川ながれてはやき月日成けり

〔源氏物語一桐壺〕けふははじめべきいのりども、さるべき人々うけたまはれる、

〔類聚名義抄二日〕昨音カシ音キノフ

〔伊呂波字類抄二天象〕昨音キノフ

〔下學集上時節〕疇昔音也音昨日

〔書言字考節用集二時候〕昨音一日音宵音也音

〔和漢三才圖會四時候〕昨音昔音又音名音昔日音明日音

廣韻云、隔一宵曰昨、乃不昨之昨、止音比音昨夕音見音日本紀音明日音須音阿音明之明、俗謂明後日音阿音左音翌日音赤音翌

明也、按、今呼有事日之次曰其翌日、則翌用過去、明用未來、

〔日本釋名上時節〕昨日音きのふは、さきの日也、さの字を略す、ふは日也、ふとひと通ず、

〔東雅一天文〕晝音ヒル音略音中音昨日をキノフといふ詞は、古語にはキツといひしなり、去年をコゾとい

ひしに同じくして、古をコシカタといふが如く、コゾといひ、キヅといふ、ソといふ詞は、共に語助

なるべし、